

灘区

項目	意見の概要	意見に対する考え方
「つながり」-ふれあいの人と人がつながるまちづくり-	<p>区内大学との交流の場を設け、灘区独自の発展的な大学連携事業の展開が望まれる時期にきているのではないかと。</p> <p>まちづくりチャレンジ制度について、新規事業の開拓とともに、事業の性質上継続事業が望ましいものについては一定の範囲内で認める方向が必要ではないかと。</p> <p>学生独自の取り組みを継続するための環境整備をより一層進めることが望ましいのではないかと。</p>	<p>平成22年度中に、地域活動に取り組む大学(学生を含む)・地域・事業者の交流会の開催を予定しており、23年度以降も定期的に開催していきたいと考えています。交流会において、これからの連携事業の展開を議論するとともに、新たな連携事業の提案があれば、具体化に向けて協力して取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>まちづくりチャレンジ制度については、現行においても継続事業を助成採択しており、今後も引き続き地域に密着した重要性の高い継続事業の支援に努めていきたいと考えています。</p> <p>学生独自の取り組みを継続するための環境整備として、まちづくりチャレンジ制度の拡充・募集方法の変更を予定しています。募集方法については、年度当初に実施を予定している事業でも申請できるよう、募集の開始時期を早めるとともに、事業費の確保に努めます。また、大学・地域・事業者の交流会など、学生と地域の連携を促進する取り組みも進めていきます。</p>
「にぎわい」-にぎわいと活力のあるまちづくり-	<p>震災復興後、様々な地域から人が集まってきて、活気のある区になった反面、灘区としてみんなでまとめた何かをするという意識や昔ながらの土地への愛着心が薄れていると感じている。また、灘区を代表するような行事ごとくも無いように見受けられる。そこで、山手幹線から国道2号線もしくは43号線までを使い、灘区役所横の広場を中心に活用して、大規模な祭りを開催してはどうか。灘区の大学連携も有効に活用し、ぜひ地元灘区の祭りとして、兵庫を代表する地元祭りとして、区内外の人々が大いに交流し楽しめ、また再び訪れる祭りを開催していただきたい。</p>	<p>灘区では、区民が中心となって「菜の花まつり」(3月)や「なだ桜まつり」(4月)、「灘のだんじり祭り」(5月)、「六甲ファミリーまつり」(5月)、「灘・夢ナリエ」(7月)、「灘ふれあい秋まつり」(10月)など、四季折々に大規模な祭りを開催しています。その中でも、地域交流を目的に毎年会場を変えて行われる「灘・夢ナリエ」は、灘の魅力である灘百選を活かすとともに、誰もが参加できる盆踊りも行われるなど、灘区を代表する行事として定着しています。また、これらの行事には、区内の大学(学生サークル)も参画し、連携して取り組んでいます。ご指摘の点も参考にさせていただき、区内外からたくさんの人々が大いに交流し楽しめ、また再び訪れる祭りとなるよう区民の皆様とともに取り組んでいきます。</p>
	<p>灘区にある六甲ガーデンテラスは、近年の六甲枝垂れの開設などによって、活気のあるアミューズメントスポットとなっているが、それに比べて摩耶山は観光的な要素に乏しいために入山者が減り、そのために摩耶ケーブルの存続も危惧される事態になっている。しかし、摩耶山は天上寺や国立公園保安林など、自然・歴史・文化的スポットとして、灘区のまちづくりにも重要な位置を占めるものであり、新しい取り組みを模索する必要がある。</p>	<p>ご指摘のとおり、摩耶山には自然・歴史・文化的な魅力がたくさんあり、これまでも摩耶山を守ろう会や摩耶協議会など、摩耶山の活性化に取り組む団体により、摩耶山ファミリーアドベンチャーや摩耶古道ウォーク、摩耶山リュックサックマーケットなどの集客イベントが開催されていますが、これらの魅力資源をさらに有効に活用し、地域団体・大学等と連携しながら今後も摩耶山の活性化に向けて取り組んでいきたいと考えています。</p>
	<p>摩耶山エリアの活性化について、計画では人が集まり人が動き流れるアクセスについての配慮が不十分であり、特に市街地とのつながりについての工夫が、現状では空洞化しているように感じられる。王子動物園と県立美術館をつなぐ「ミュージアムロード」と市街地から摩耶山へアクセスするルートとを、王子動物園を連結点にしてつなげば、一石二鳥の効果が期待されるのではないかと。王子動物園を起点として、摩耶への登山口を結ぶルート(「まやスカイロード(仮称)」)を設定すれば、灘区の新しい名所が出現する可能性がある。</p>	<p>灘区では、摩耶山～王子動物園・原田の森ギャラリー～HAT神戸までの文化施設が集積している南北の地域を「灘文化軸」と呼んで、これまで文化をテーマにまちづくりを進めてきました。昨年12月には、王子動物園から県立美術館までの道路の愛称を「ミュージアムロード」とするなど、この地域を中心として、灘区を「芸術・文化の薫るまち」にしていこうという機運が高まっています。ご指摘のとおり、この「ミュージアムロード」とともに、市街地からの摩耶山へのアクセスルートのご提案を踏まえ、今後も摩耶山エリアの活性化に努めていきたいと考えています。</p>